



呼気アルコール測定器新製品

「燃料電池式 業務用呼気アルコール測定器 S T-3000」新発売

サンコーテクノ株式会社（本社：千葉県流山市南流山 3-10-16 /代表取締役社長：洞下英人）は、「燃料電池式 業務用呼気アルコール測定器 ST-3000」を2月20日より販売を開始します。

これまでのセンサー方式である接触燃焼式から燃料電池式にする事により、ガス選択性の更なる向上と、今までユーザーより要望が多かった測定時間の短縮（13秒から5秒）を実現しました。また、新たな機能として、Bluetoothの搭載によるタブレットまたはスマートフォンとの連動（拡張性の向上）や電池を搭載することにより、停電時の電源供給が止まった状況においても使用可能になるなど、点呼時におけるアルコール測定が今まで以上に多機能かつスムーズで確実なものとなります。

価格は198,000円を予定、初年度2,000台の販売を見込みます。

< 記 >

■製品名：呼気アルコール測定器 ST-3000

■特長：①センサー方式に燃料電池式を採用

- ・呼気に含まれるアルコール以外のガスには反応しにくい。
- ・独自の技術により、検出スピードが早く、検知精度も高い。

②外部機器との接続

- ・Bluetooth（無線）及びUSBケーブルにてタブレットやスマートフォンとの連動が可能。

③電池を搭載

- ・業務用測定器は通常AC100Vとなっているが、接触燃焼式ではセンサー表面を高温にする特性上、消費電力を多く消費してしまうため、電池駆動が難しかったが、燃料電池式の場合は、センサーを高温にする必要が無く消費電力がゼロのため、電池駆動が可能。

■開発の経緯

現在、日本の市場において、アルコール測定器のセンサーとしては、主に半導体式、燃料電池式、接触燃焼式の方式が用いられています。しかし、今後の傾向として海外で主流となっている燃料電池式の採用が予想されることから、今まで以上にアルコール検知精度の高い燃料電池式センサーを開発しました。

今回の開発及び製造に関しては、当社の今まで培ってきたアルコール測定器のノウハウをベースに、燃料電池センサーの技術を持つ株式会社タニタ（本社：東京都板橋区前野町 1-14-2/代表取締役社長：谷田千里）との共同開発製品となっております。

今後、株式会社タニタとは、お互いの技術を活かした新製品を開発していきます。

■製品画像



外部機器との接続例 ノートPCとの接続

外部機器との接続例 タブレット



ST-3000 で呼気測定中の運転手
(手前) と管理者 (奥)

本件に関するお問合せ先.

サンコーテクノ株式会社 経営管理本部 総合企画グループ 楠見

Tel. 04-7192-6638 (直) / Mail. kusumi@sanko-techno.co.jp

本ニュースリリースは、これまでに弊社広報担当と名刺交換をさせていただいた報道関係者にお送りしております。

今後、弊社ニュースリリースをご希望されない場合は、お手数ですが上記のお問合せ先まで、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。